

学校法人 加計学園

平成17年度事業報告

【 岡山理科大学附属中学校 】

I. 事業の概要（全般）

開校4年目を迎えて、第四期生24名が入学しました。4月より第2代校長として、岡山理科大学工学部の新倉正和教授が就任しました。開学より年々入学者が減少傾向にあることから、これに歯止めをかけ、増加させるために、

- 1) 対策ワーキンググループを編成し、入試広報活動を計画的に進めました。
- 2) 大学進学実績がない現在、全国模試や各種検定試験指導に力を入れ、実績を広報に活用しました。
- 3) 入学試験に、従来の自己推薦、一次、二次に加え、基礎力入試を新たに設けました。

その結果、志願者数140人、入学者数34人と、ともに増加させることができました。しかしながら、依然として、入学定員80名に対して入学者が低位にあるのが現状であります。

そのほか、第二期生31名が義務教育課程を修了し、うち29名がそのまま中高六年一貫コースの高校に、1名が附属高校普通コースに進学が決定しました。

II. 学校の概要

1. 生徒の定員現員数

(5月1日現在)

	定員数		現員数			
	入学定員	収容定員	1年	2年	3年	合計
岡山理科大学附属中学校	80	240	24	31	31	86

(単位：人)

2. 学年暦

	学年始休業	入学式	夏季休業	冬季休業	学年末休業	修了式
岡山理科大学附属中学校	4月1日 ～4月7日	4月9日	8月1日 ～8月21日	12月23日～ 1月9日	3月26日 ～3月31日	3月17日

Ⅲ. 各事業の概要

1. 教育活動の進捗状況

中高六年一貫コースの目標として、全国難関大学や医歯薬学系大学への進学を目指していますので、六年の課程を前倒しで進めるとともに、全国模試や各種検定試験指導を強化しました。全国模試や各種検定とともに、一学年上のレベルに挑戦させ良い実績を得ました。数学検定では、中学3年生のうち8人が準2級（高校中級レベル）に合格しました。同様に、英語検定では4人、漢字検定では3人が準2級に合格しました。

6月に3年生がオーストラリアに海外研修旅行に行き、ファームステイも体験して文化の違い等を学んで帰国しました。また、1年生は倉敷芸術科学大学で陶芸、ガラス工芸、染色実習を、2年生は倉敷芸術科学大学専門学校で調理実習を行いました。

部活動においても、空手部や水泳部、アーチェリー部、スキー部等で、岡山県や岡山市の大会で優勝を果たしています。空手では、USAオープン空手選手権（形の部）で優勝しました。また、ノートルダム杯レシテーションコンテスト（暗唱コンテスト）でも優勝を達成しました。

入学者数・卒業者数等は下表のとおりです。

入学者数一覧 (5月1日現在)

	入学者		
		留学生	社会人
岡山理科大学附属中学校	24		

(単位：人)

卒業者数等一覧

	卒業 者	修了 者	退 学 者	除 籍 者	休 学 者	留 年 者
岡山理科大学附属中学校	3	1				

(単位：人)

2. 生徒の募集・広報

岡山市、倉敷市、姫路市を中心に塾訪問及び小学校訪問を行いました。6月、7月、8月、9月、10月、11月にそれぞれオープンスクール及び入試説明会を行いました。8月に塾対象で理科実験教室を理科室にて2回行いました。(約40名) 1月に倉敷の塾に出張講義として、理科実験教室を1回行いました。(参加者数 約20名)

3. 財務関係

主な収入及び支出

(単位：千円)

年 度 科 目	16年度決算額	17年度決算額
学 納 金 収 入	57,312	46,361
補 助 金 収 入	49,530	48,331
そ の 他 収 入	1,305	1,824
帰 属 収 入 合 計	108,147	96,516
基 本 金 組 入 額 合 計	△ 4,204	△ 1,633
消 費 収 入 の 部 合 計	103,943	94,883
人 件 費	116,108	123,060
教 育 研 究 経 費	31,278	32,201
管 理 経 費	11,568	11,521
そ の 他 支 出	0	0
消 費 支 出 の 部 合 計	158,954	166,782
当 年 度 消 費 収 入 超 過 額	△ 55,011	△ 71,899

○収支改善対策の具体的取組と効果

今年度12月に、新たに基礎力入試を設けたことにより、志願者増に繋がりました。来年度以降も、志願者数、入学者数の確保が急務となっております。人件費の伸びをわずかながら抑え経費の削減にも努めましたが、入学者数が定員を下回っているため、支出が増加しております。